

《担当者名》坊垣暁之

【概要】

免疫細胞生物学特論で学んだ各内容について、実際に英文論文を読解することにより、免疫担当細胞が病態形成に関わっている疾患の現在の考え方を理解します。幅広い分野を理解する足がかりとする目的に基礎的な内容からヒト疾患の治療までさまざまな英文論文を抄読します。また、成書の記載と比較することで疾患の捉え方の変遷や、検査法の変化、治療法の進歩などについて学びます。加えて、さまざまな研究から導かれた病態を学ぶとともに、導かれた結果を証明するに至った研究方法、研究の論理的思考法についても学びます。

【学修目標】

- 1) 自ら必要な英文を検索し読解できる。
- 2) 論文中に用いられた研究方法について説明できる。
- 3) 研究上の疑問点を解決するための論理的思考を自ら組み立てられる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	免疫システムの概要	・免疫システムに関する英文総説の抄読	坊垣暁之
2	リンパ球サブセット	・リンパ球サブセットに関する英文論文の抄読	坊垣暁之
3	免疫老化	・免疫老化に関する英文論文の抄読	坊垣暁之
4	遺伝的要因	・遺伝的要因に関する英文論文の抄読	坊垣暁之
5	環境要因	・環境要因に関する英文論文の抄読	坊垣暁之
6	サイトカイン	・サイトカインに関する英文論文の抄読	坊垣暁之
7	全身性エリテマトーデス	・全身性エリテマトーデスの病態に関する英文論文の抄読	坊垣暁之
8	関節リウマチ	・関節リウマチの病態に関する英文論文の抄読	坊垣暁之
9	脊椎関節炎	・脊椎関節炎の病態に関する英文論文の抄読	坊垣暁之
10	多発性硬化症	・多発性硬化症の病態に関する英文論文の抄読	坊垣暁之
11	糖代謝異常	・糖代謝異常の病態に関する英文論文の抄読	坊垣暁之
12	アレルギー疾患	・アレルギー疾患の病態に関する英文論文の抄読	坊垣暁之
13	凝固異常	・凝固異常の病態に関する英文論文の抄読	坊垣暁之
14	抗体製剤	・抗体製剤の病態に関する英文論文の抄読	坊垣暁之
15	免疫関連有害事象	・免疫関連有害事象の病態に関する英文論文の抄読 ・グループワーク（全体を通して生じた疑問点について検討を行う）	坊垣暁之

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

課題レポート 100%

最終回終了後に提示された課題についてレポート作成を行う。

【評価基準】

病態形成における免疫担当細胞の役割を理解し、病態形成の機序について説明できる者に対して単位を付与し、学修目標に記載する能力（知識・技能、思考力、判断力、表現力など）の達成度に応じて、優（80点以上）、良（70点以上）、可（60点以上）の評価を与える。

【備考】

適時、プリント等の資料を配布します。

【学修の準備】

配布論文について、事前に読解しておくこと(160分)。

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP2) 臨床検査に携わる高度専門職業人として、医療環境の変化や社会的ニーズを把握し、臨床検査や関連研究から新しい知識と技術を修得、実践・応用し、質の高い臨床検査を提供できる能力を身につけていること。

【実務経験】

医師

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、免疫異常に関わる疾患の研究動向について演習を行う。。